



このマニュアルはENODRAWソフトウェアに添付されているヘルプです。従ってインストールファイル容量等の制約により、最低限の説明に留めております。具体的な作図の手順や効率的な使い方の説明、FAQ等についてはWeb上にある作者のページをご覧ください。

作者ホームページ：<http://www.eno538.com>

作者メールアドレス：enodraw@eno538.com

< ENODRAW仕様 >

- ・最大ページ数 無制限
- ・レイヤ数 無制限
- ・作画次元 2次元
- ・座標単位 ピクセル(ドット) 1ピクセルの寸法は変更可
- ・作画要素の種類 4種類(直線, 円, 文字列, イメージ)
- ・直線要素のポイント数 無制限
- ・文字列要素の文字数 無制限
- ・リンク設定数 無制限
- ・リンクパス文字数 255文字
- ・添付ファイル個数 無制限
- ・しおり設定数 無制限
- ・入力ファイルフォーマット enodraw PDFファイル
- ・出力ファイルフォーマット enodraw PDFファイル
- ・入力クリップボードデータ ENODRAWクリップボードデータ
テキストクリップボードデータ
ビットマップクリップボードデータ
OLEクリップボードデータ
- ・出力クリップボードデータ ENODRAWクリップボードデータ
ビットマップクリップボードデータ
- ・ドラッグドロップファイル BMPファイル
JPEGファイル
全ての形式のファイル(添付ファイルタブ)

実際にはパソコンのメモリ容量やハードディスク容量等により制限があります。

< 動作環境 >

- ・パソコン本体 OADG準拠DOS/Vパソコン
- ・OS WindowsXT/2000/NT/95/98/Me
- ・CPU i386上位互換CPU
- ・メモリ 128MB以上(512MB推奨)
- ・ハードディスク プログラム領域5MB, ドキュメント用に数MB以上の空き必要
- ・モニタ 800x600ドット以上
- ・キーボード 必須
- ・マウス 必須(スクロールマウス推奨)
- ・プリンタ ベクトル系コマンドを有するものを推奨
- ・必要ソフトウェア Acrobat Reader 6.0以上

< 起動方法 >

- ・スタートメニュー 「eno538」 「enodraw」を実行
- ・エクスプローラでPDFファイルを右クリック 「enodrawで編集」を選択
もし「enodrawで編集」が出てこない場合はスタートメニューよりenodrawを起動し、終了すると次回から出るはず。これはAcrobat Reader等の更新インストールにより、関連付け設定が消去される為です。

マウス操作一覧

本ソフトではマウスのクリックとドラッグを明確に区別します。

- ・クリックとはマウスを動かさずに釦をON/OFFする操作です。
- ・ダブルクリックとはマウスを動かさずに釦を連続2回ON/OFFする操作です。
- ・ドラッグとは釦をONしておいてマウスを移動させる操作です。

クリック	左釦	通常時：ポイントの入力を行います。 要素選択時：要素に対する編集操作を開始します。 範囲選択時：選択範囲に対する編集操作を開始します。
	右釦	通常時：メインメニューを表示します。 ポイント入力（1点）時：ポイント入力をキャンセルします。 ポイント入力（2点）時：2点作画メニューを表示します。 ポイント入力（2点以上）時：2点以上作画メニューを表示します。 要素選択時：要素のプロパティウインドウを表示します。 範囲選択時：プロパティ一括変換ウインドウを表示します。
ダブル クリック (または Ctrlキー+ クリック)	左釦	通常時：要素を選択します。 ポイント入力時：作画メニューで前回選択された動作を行います。
	右釦	メインメニューを表示します。
ドラッグ	左釦	画面のスクロールを行います。アクロバットリーダーと等価な動作です。
	右釦	上方向：移動量により表示倍率を下げます（縮小方向）。 下方向：移動量により表示倍率を上げます（拡大方向）。 但し、ページ全体表示やページ全幅表示は一番拡大側に分類されますので注意する必要があります。 左方向：移動量により方眼紙を細かくします。 右方向：移動量により方眼紙を荒くします。
ホイール スクロール		通常時：垂直スクロールを行います。 Alt押下時：ページスクロールを行います。 Shift押下時：水平スクロールを行います。 Ctrl押下時：表示倍率の変更を行います。

ドラッグによる表示状態の変更は、何時でも作画，編集操作に割り込んで実行できます。

ショートカットキー一覧

DTPソフトと言えどもマウスだけの操作では限界があり、キーボードと併用しなければ能率が上がりません。本ソフトのショートカットキーはメニュー表示中や文字編集中等を含め、殆どの場面で使用することができるのを特長としています。

キー名称	Shift 押下	Ctrl 押下	Alt 押下	メニュー イメージ	コマンド の内容
PageUp					1ページ分上スクロールする
PageDown					1ページ分下スクロールする
Home					先頭ページ(フォーム)に移動
End					最終ページに移動
N		○		新規作成 Ctrl+N	ドキュメントの新規作成
O		○		開く Ctrl+O	ドキュメントを開く
S		○		保存 Ctrl+S	ドキュメントを保存する
P		○		すぐに印刷 Ctrl+P	ドキュメントを印刷する
F4			○	終了 Alt+F4	アプリケーションを終了する
Z		○		元に戻す Ctrl+Z	最後の編集をキャンセルする
X		○		切り取り Ctrl+X	クリップボードへの切り取り
Delete	○				
C		○		コピー Ctrl+C	クリップボードへのコピー
Insert		○			
V		○		貼り付け Ctrl+V	クリップボードから貼り付け
Insert	○				
Delete				削除 Del	要素を削除する
Insert					文字列編集部の上書きモード切換
Esc				キャンセル Esc	現在の作画 / 編集を中止する
Tab		○		次のウインドウ Ctrl+Tab	次のEnodrawウインドウをアクティブにする
R		○		画面再描画 Ctrl+R	ウインドウ全体を再描画する
F1				1点戻し F1	ポイント入力を1点取り消す
F2				範囲選択 F2	範囲選択を行う
F3				直線作画 F3	直線を作画する
F3				折線作画 F3	折線を作画する
F4				長方形作画 F4	対角線から長方形を作画する
F4				折線加-入 F4	多角形を作画する
F5				サイズ連動型の文字列を作画する F5	サイズ連動型の文字列を作画する
F11				次要素検索 F11	要素選択の次候補を検索する
F1	○			角度指定で文字列を作画する F1	角度指定で文字列を作画する
F2	○			左上揃文字 F2	範囲型の文字列を左上揃えで作画する
F3	○			中央揃文字 F3	範囲型の文字列を中央揃えで作画する
F4	○			円作画 F4	真円を作画する
F1		○		矢印寸法文字 F1	引出線のない寸法文字列を作画する
F2		○		引出寸法文字 F2	引出線のある寸法文字列を作画する
F3		○		引出文字列 F3	引出説明用文字列を作画する
F4		○		楕円作画 F4	楕円を作画する

次ページに続く

キー 名称	Shift 押下	Ctrl 押下	Alt 押下	メニュー イメージ	コマンド の内容
(上矢印)		○			選択要素を上方向に微調整移動
(下矢印)		○			選択要素を下方向に微調整移動
(左矢印)		○			選択要素を左方向に微調整移動
(右矢印)		○			選択要素を右方向に微調整移動

メインウィンドウの操作

ウィンドウ
閉鎖 釦

ウィンドウ
最大化 釦

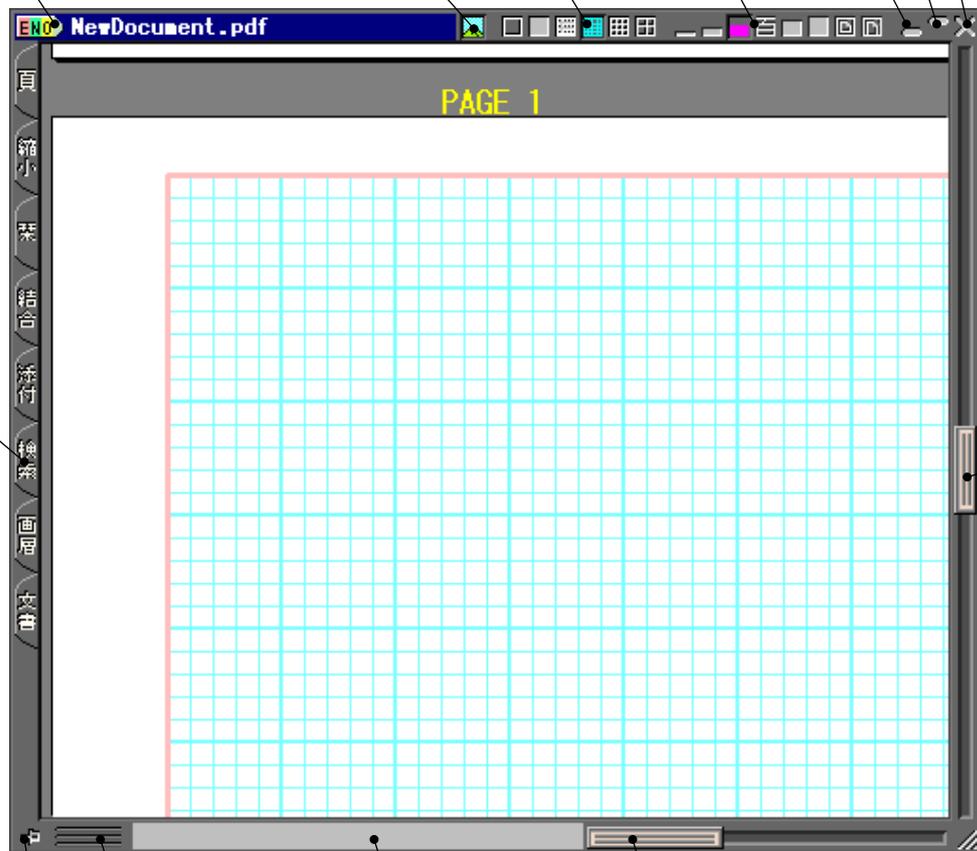
ウィンドウ
アイコン化 釦

表示倍率設定の表示です
直接クリックして設定を変える事も出来ます

方眼紙のサイズ 設定の表示です
直接クリックして設定を変える事も出来ます

イメージ要素を描画する設定の表示です
直接クリックして設定を変える事も出来ます

アイコンをクリックすると
メインメニューを表示



グループ表示/
消去用の釦で
す。

水平スクローバーです。
全ページとフォームを一括
してスクロールします

水平スクローバーです。
ページの全幅が表示さ
れている時は消去

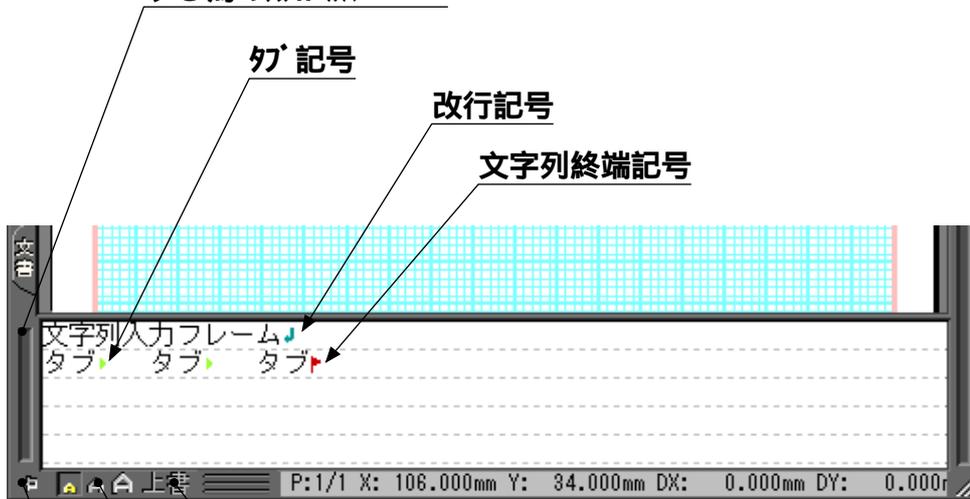
座標値や角度など、数値で
表される状態が表示されます

バックグラウンドで実行され
ているタスクの実行状態です

文字列編集フレームの表示状態
を切替える串ざしです。
直接クリックして変更できます

・文字列編集フレームの操作

複数行の文字列を編集
する為の追加状態



上書きモード選択状態表示
直接クリックして変更できます

文字列編集フォントサイズ選択
状態。3種類のサイズが有ります
直接クリックして変更できます

文字列編集フレームの表示状態
を切替える串ざしです。
直接クリックして変更できます

<文字列編集フレーム上でマウス右クリックした時表示されるメニュー>



選択された文字列を切り取り、クリップボードにコピーします。

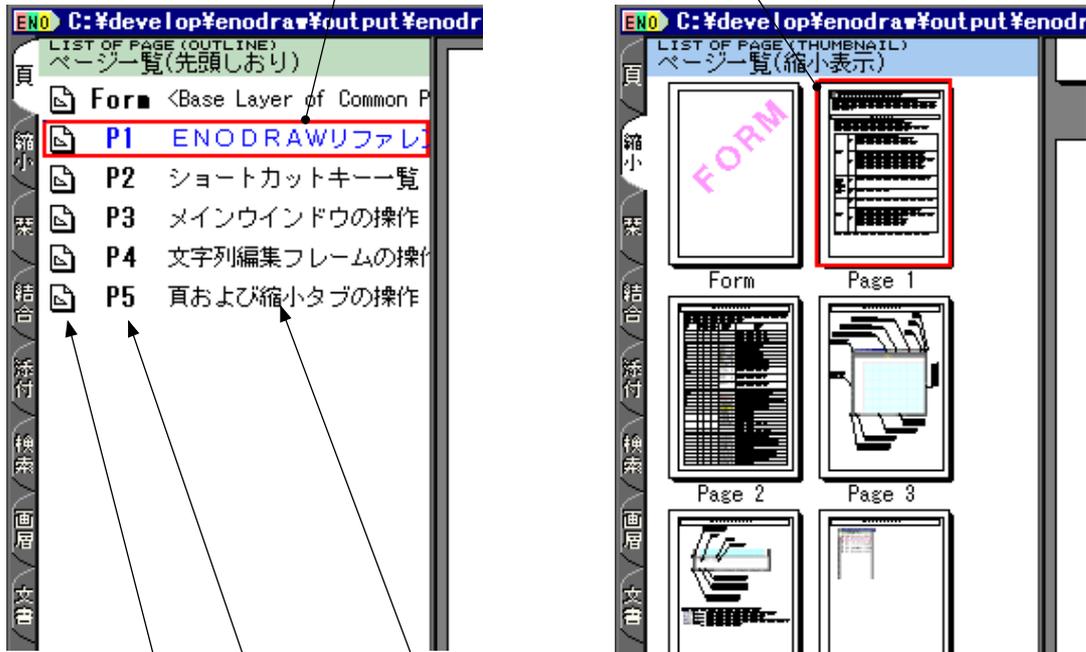
選択された文字列をクリップボードにコピーします。

選択された文字列またはカーソル位置にクリップボードから貼り付けます。

選択された文字列を削除します。

・ 頁および縮小タブの操作

選択されたページは赤線で囲まれます



ページ中に存在する「しおり登録」された文字列の中で最も左上にある文字列が表示されます。

ページ番号

ページの状態を示すアイコン表示



編集OK



ファイル読込中



印刷中



ファイル書込中

< 頁タブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー >



選択されたページを切り取り、クリップボードにコピーします。

選択されたページをクリップボードにコピーします。

クリップボードにあるページデータを貼り付けます。

選択されたページを削除します。

選択されたページ内の要素に対してプロパティ変換を実行します。

選択されたページ内の要素を折れ線要素に変換します。

選択されたページ内の要素を現在の書き込みレイヤに移動します。

全てのページを選択します。

全てのページを選択解除します。

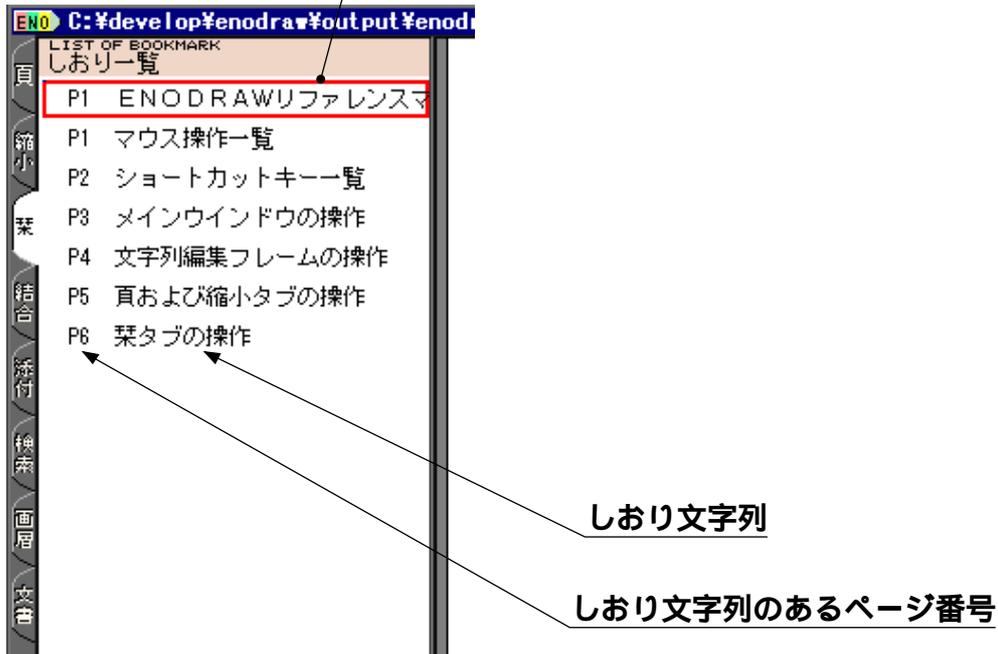
メインメニューを表示します。

頁および縮小タブは各ページへの移動以外にも、ページ単位のクリップボード操作や、各ページ内要素への各種編集、印刷ページの選択等に使用されます。

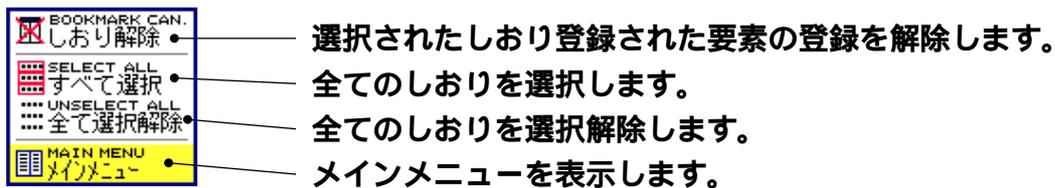
本ソフトでは、各ページ毎に状態管理しており、ファイル読み込み中や印刷中でもそれが終了したページから随時表示や編集が可能になっています。そのページ毎の状態を唯一表示しているのが頁タブ内のアイコンです。これは数100ページ以上のドキュメント編集時に威力を発揮することうけあいです。

・ 栞（しおり）タブの操作

選択されたしおりは赤線で囲まれます



< 栞タブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー >

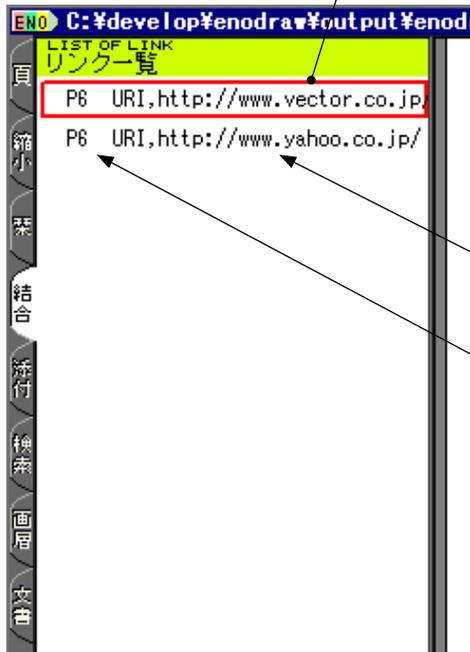


しおりは文字列要素のプロパティ「しおり登録」をONにすることにより自動的にリスト追加されます。しおりに使用される文字列は、その文字列要素の内容から自動的に抽出されます。改行、スペースやタブ等があればそれを飛ばし、有効な文字が見つかったら、その場所からスタートして次の改行、スペース、タブの手前までをしおり文字列とします。

本ソフトでは登録の安易さを重視している為、階層付きのしおりは作成できません。設定する為の操作が面倒くさくなる事により文書が更新されなくなるのは、読む側にとっても不利益だからです。

・結合（リンク）タブの操作

選択されたリンクは赤線で囲われます



リンク設定（文字列，イメージ要素のプロパティ参照）

リンク要素のあるページ番号

<リンクタブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー>



選択されたリンク登録された要素のリンクを解除します。

全てのリンクを選択します。

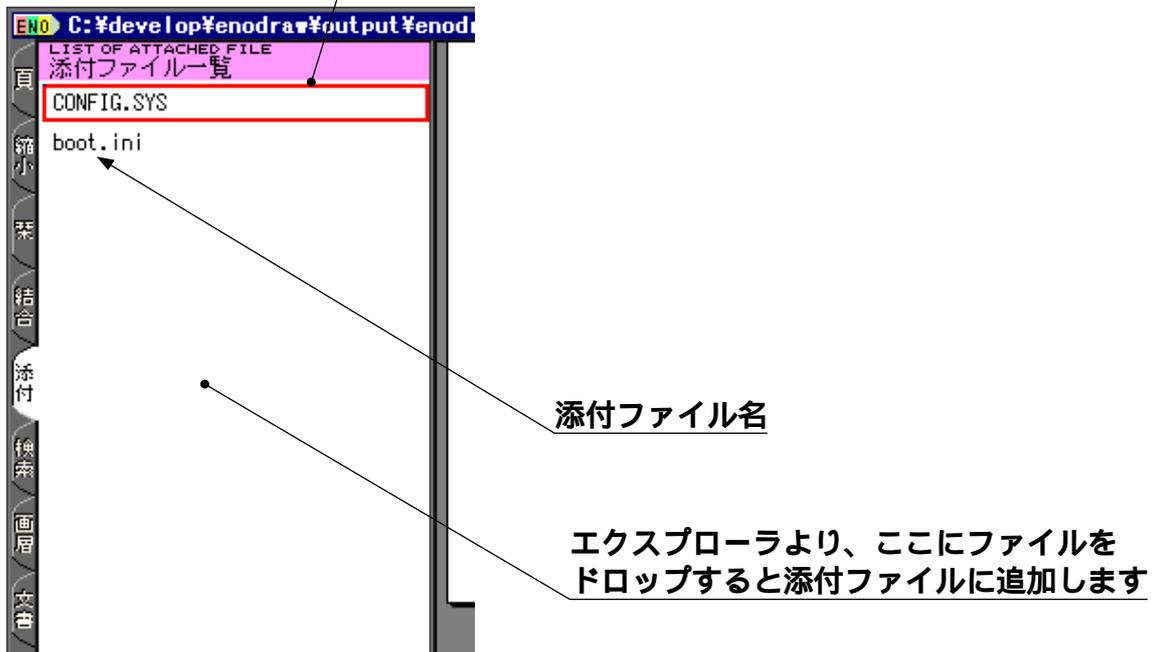
全てのリンクを選択解除します。

メインメニューを表示します。

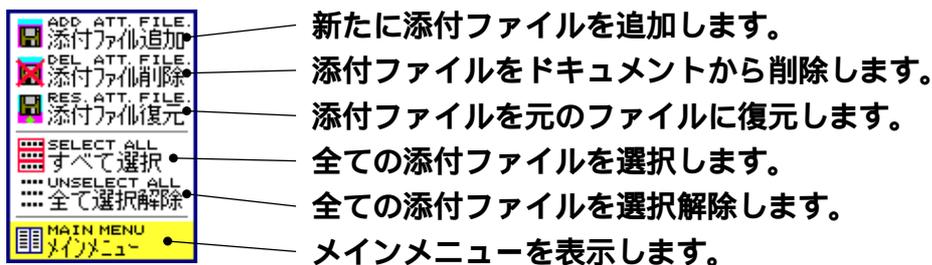
PDFにはしおりという機能が存在するので、リンクは基本的にインターネット上のブラウジング目的や、実行形式ファイルの実行の為に使用します。
また、このリンク機能の設定に関して本ソフトはまだ開発途上である為、十分なGDIインターフェースを持っているとはいえません。

・添付ファイルタブの操作

選択された添付ファイルは赤線で囲まれます



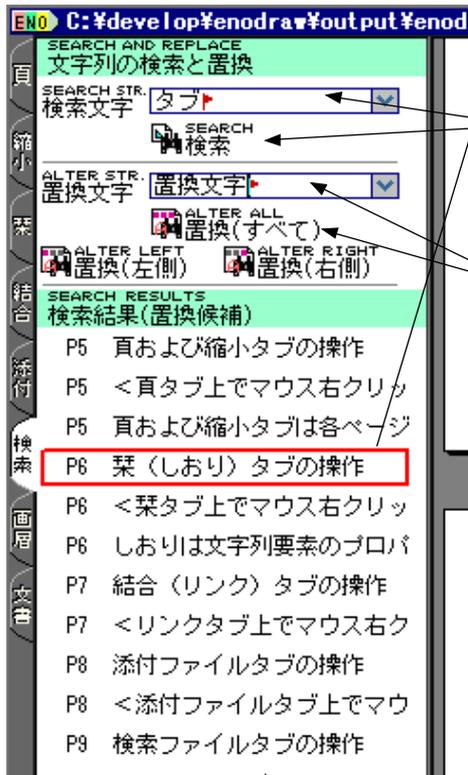
<添付ファイルタブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー>



添付ファイルはドキュメントとは全く無関係のファイルも埋め込む事ができる機能で、ドキュメント作成時に参照した資料や、依頼文書などを埋め込む事により、関係ファイルを1つのPDFファイルにまとめられるので、ファイルの管理が容易にできる様になります。

・ 検索タブの操作

選択された検索結果は赤線で囲まれます



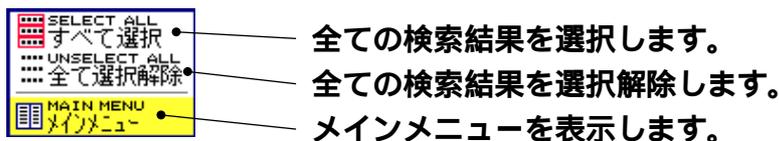
検索文字を入力し、「検索」を押すことにより、検索結果が表示されます。検索範囲は範囲選択されている場合はその範囲、それ以外は全ページが対象となります。

検索結果を1つ以上選択して、置換文字を入力、置換釦を押すと、選択された要素に対して文字列置換が行われます。釦が3種類あるのは検索文字が要素の中に複数存在する場合の動作を指定するものです。

「すべて」：検索文字すべてを置換文字に置換
 「左側」：一番左側だけを置換文字に置換
 「右側」：一番右側だけを置換文字に置換
 つまり AAAvvvAAAwvwAAA の AAA を BBB に置換した場合、
 「すべて」は BBBvvvBBBvwvBBB
 「左側」は BBBvvvAAAwvwAAA
 「右側」は AAAvvvAAAwvwBBB
 となります。

検索が行われたなら、検索結果が表示されます。

< 検索タブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー >



全ての検索結果を選択します。

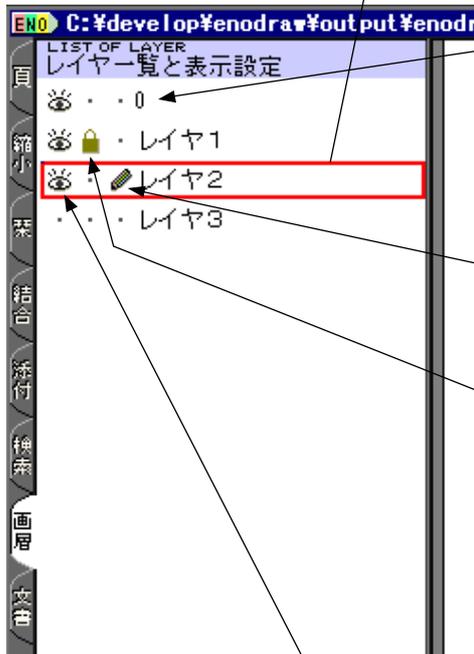
全ての検索結果を選択解除します。

メインメニューを表示します。

本機能はおもに小さい文字列要素が多数存在するときの簡易的な検索および置換機能を提供するものです。1つの大きな文字列要素内での置換やその他の操作は、テキストエディタ等に取り込んで編集する方がよいかもしれません。

・画層（レイヤ）タブの操作

選択されたレイヤは赤線で囲まれます



レイヤ名「0」は空のレイヤです。レイヤ設定されていない要素はすべてこのレイヤにありますが、レイヤの非表示やロックはできません。

現在の書き込みレイヤを示しています

レイヤがロックされている事を示しています。ロックされたレイヤ内の要素は選択する事ができません。範囲選択の場合でも対象要素から外されます。直接マウスクリックする事でON/OFFできます。

レイヤが表示中であることを示しています。直接マウスクリックする事でON/OFFできます。本表示設定はPDF保存後、アクロバトリーダーでの閲覧時にも引き継がれます。

<画層タブ上でマウス右クリックした時表示されるメニュー>



選択されたレイヤを表示状態にします。

選択されたレイヤを非表示にします。

選択されたレイヤをロックします。

選択されたレイヤのロックを解除します。

新しい名前のレイヤを作成します。

選択されたレイヤの名称を変更します。

要素の存在しないレイヤを削除します。

選択されたレイヤを削除します。要素は「0」レイヤに移動します。

全てのレイヤを選択します。

全てのレイヤを選択解除します。

メインメニューを表示します。

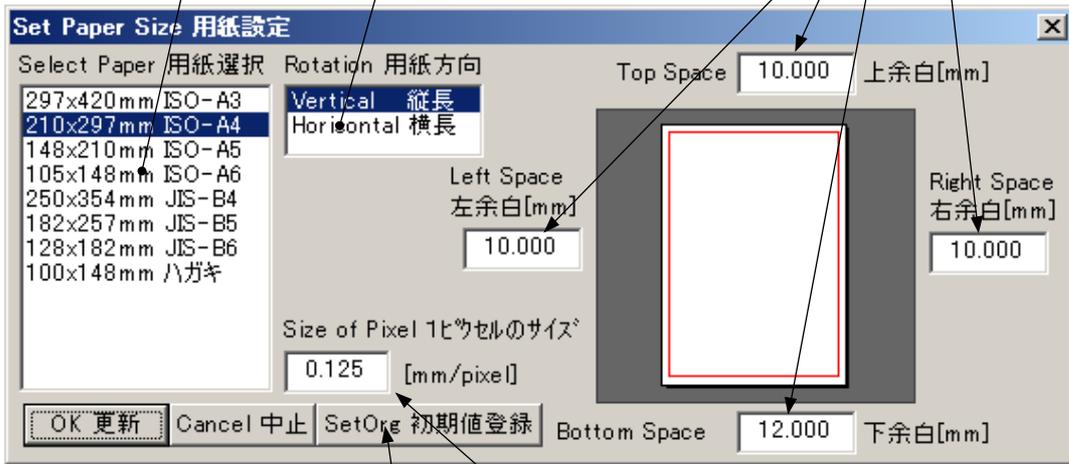
本ソフトでのレイヤは通常のCADソフトのそれとは若干違います。それはコピー/ペースト時に元のレイヤ設定を引き継ぐ事です。他のドキュメントの要素を切り取って貼り付けた時、コピー元でのレイヤが「レイヤ1」であって、貼り付け先にそのレイヤが存在しない場合は、自動的に「レイヤ1」を作成し、貼り付けられます。もし後でその要素を削除した場合でもレイヤは残ってしまうので、手動で削除するか「不使用レイヤ削除」コマンドで消去する事になります。通常のCADソフトの様に書き込みレイヤを作成してから入力する方法も出来ますが、本ソフトでは基本的に要素のプロパティ中のレイヤ名を編集し、自動で追加させる方法をとります。このようにレイヤ設定がコピー/貼り付け時にも保持される事で、より詳細なレイヤ設定が可能になり、後にそれを編集するときレイヤロック+範囲選択の組み合わせで相当な省力編集が図れます。

・ 文書（プロパティ）タブの操作

用紙サイズを選択します。定型化推進の為、自由サイズはありません。

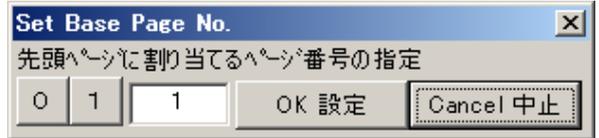
用紙の向きを選択します。

各余白を設定します。



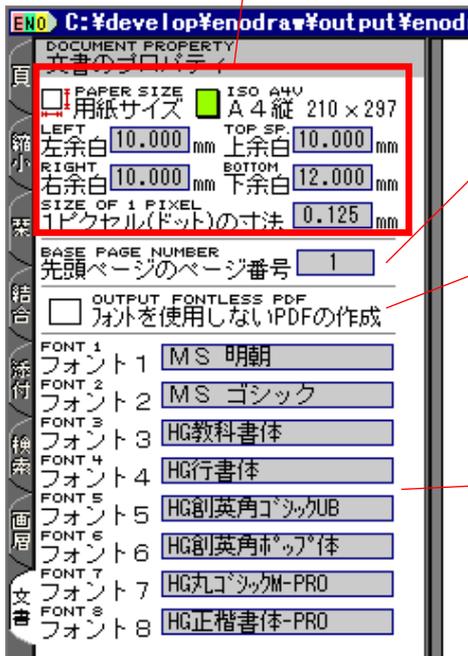
1ピクセル（ドット）単位の寸法を指定します。0.125mm（約200dpi）が標準です。できるだけこの寸法で御使用下さい。用紙サイズが大きい状態で細かくするとパフォーマンスが大幅低下します。

画面上の設定を新規作成時の設定として保存します。



先頭ページのページ番号を指定します。通常は1、表紙付きの場合は0を指定します。

クリックする毎にON/OFFします。チェックすると英語版のアクロバトリードで閲覧できるようになります。但しファイルサイズが増え、フォント品質が大幅低下します。



フォントのみを選択します。スタイル、サイズは関係ありません。



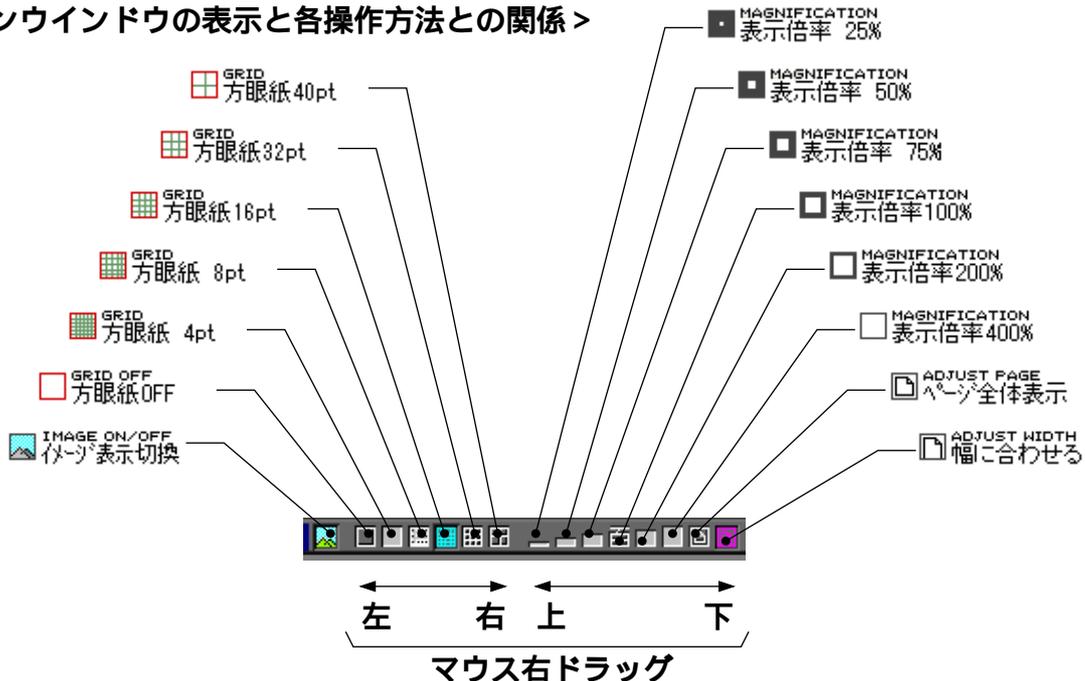
文書タブはファイルに保存される情報の設定に使用されます。アプリケーションの設定（本ソフトでは「環境設定」コマンド）とは明確に区別しています。用紙設定では1ピクセルあたりの寸法を指定できる所が特長で、高詳細になって行くプリンタへの対応や、将来的にCADソフトとのデータ交換も可能にしています。また、フォントを使用しないPDFは、日本語を表示できない環境での閲覧を可能にし、そのファイルを本ソフトで再編集できるメリットがあります。

表示に関する操作

< 表示状態を変える方法 >

- その1：メインウィンドウのスクロールバーをマウス左ドラッグして移動
- その2：マウスのホイールによる移動
- その3：マウスの左ドラッグにより移動
- その4：マウスの右ドラッグ（上下方向で表示倍率，左右方向で方眼紙サイズ変更）
- その5：メインメニューの表示メニュー内コマンド実行
- その6：メインウィンドウの表示状態釦を直接左クリック

< メインウィンドウの表示と各操作方法との関係 >



表示倍率 100% は画面上の実サイズではなく、画面のピクセルと作画単位ピクセル（ドット）が一致する状態です。この状態が最も綺麗に表示できます。
縮小 / 拡大時に表示がおかしいなと思ったら、一度 100% にしてみてください。

表示に関する操作，コマンドは作画のポイント入力の間割り込んで行う事ができます。
長い直線を引く為に 1 点目ポイント入力 左ドラッグにて移動 2 点目ポイント入力 という操作が可能で、表示倍率を頻繁に変更しなくても端から端への直線が描けます。

表示倍率と方眼紙サイズは連動して操作するのが普通です。マウスの右ドラッグによる方法を使用すれば、斜め右上 左下にドラッグすれば同時に変更できます。

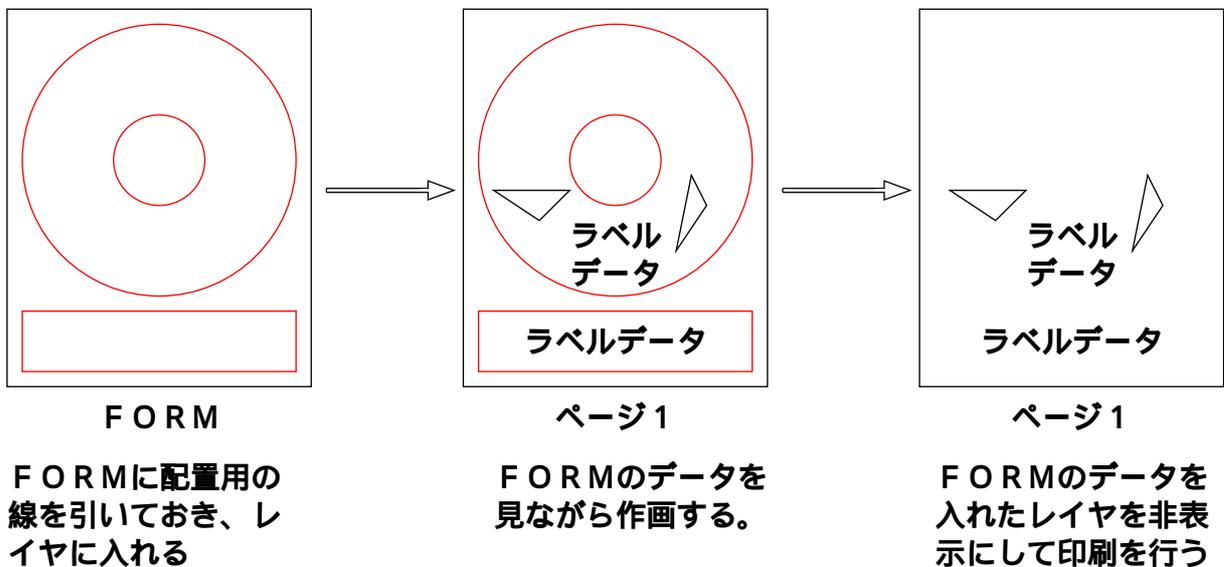
FORMページについて

ページの一番上に「FORM」という斜め文字列が背景に描かれたページがありますが、これは実際のページではありません。FORMは、全ページに共通するフォーマットデータを描く為のものです。FORMに描かれた要素は、全ページに描かれます。

通常FORMには図枠などの全ページに共通のデータを描きます。それによりページを追加した時に描く必要がなくなりますし、その部分の修正も1回で済みます。これは数100ページのドキュメントでは相当な省力化になります。

但し、FORMにあまりにも多くのデータを入れてしまうと、ページ編集時に触れないので、かえってストレスになります。

その他有効な使用法として、FORMにハガキや各種ラベルの配置を描いておき、各ページを描いていくときにそれに合わせることで、ページ毎のレイアウト配置を合わせることができます。さらに、FORMに描いたデータをレイヤに入れる事により、ドキュメント完成後、印刷時や閲覧時にそのレイヤを非表示にするという使い方も可能です。



基本的な作画操作

本ソフトは、他のソフトと比較して一風変わった操作方法を取っていますので御了承願います。まず、ツールバーがありません。「ツールバーがなかったら、作画コマンドをどうやって選ぶの？」という疑問がわいてきそうですが、本ソフトでは「コマンド後付け方式」をとります。つまり、必要なポイントをクリックしておき、それを直線にするか円にするか文字にするかは後で選択するというものです。連続して同じ種類の要素を作画する場合は最後の点をダブルクリックします。（実際にはキーボードとの併用を推奨します。）

<ポイントの入力方法>

- 1：普通に左クリックすると、方眼紙のマス目の交差点のポイントが入力されます
- 2：Shiftキーを押しながら左クリックすると、方眼紙を無視してポイントが入力されます
- 3：Altキーを押しながら左クリックすると、方眼紙の1/2の交差点のポイントが入力されます

・直線要素の作画

< 2点の直線または長方形の場合 >

1点目を左クリックします。

2点目を左クリックします。

右クリックしてメニューを表示して「直線作画」または「長方形作画」を選択

直前に直線作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要
の代わりにF 3キー（直線）かF 4キー（長方形）でもOK

< 3点以上の直線または多角形の場合 >

1点目を左クリックします。

2点目を左クリックします。以後、必要なポイントを入力します。

・
・

最後の点を左クリックします。

右クリックしてメニューを表示して「折線作画」または「折線クローズ」を選択

直前に折線作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要
の代わりにF 3キー（折線）かF 4キー（折線クローズ）でもOK

・円要素の作画

< 円の場合 >

1 点目を左クリックします。これが中心点となります。

2 点目を左クリックします。1 点目との X Y 距離で大きい方が半径になります。

右クリックしてメニューを表示して「円作画」を選択

直前に円を作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要
の代わりにShift + F 4 キーでもOK

< 楕円の場合 >

1 点目を左クリックします。これが中心点となります。

2 点目を左クリックします。1 点目との X Y 距離がそれぞれ X Y 半径になります。

右クリックしてメニューを表示して「楕円作画」を選択

直前に楕円を作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要
の代わりにCtrl + F 4 キーでもOK

< 円弧の場合 >

1 点目を左クリックします。これが中心点となります。

2 点目を左クリックします。1 点目との X Y 距離で大きい方が半径になります。

右クリックしてメニューを表示して「円弧作画」を選択

始点付近をクリックして始角を決定（半時計回りです）。

終点付近をクリックして終角を決定（半時計回りです）。

直前に円弧を作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要

< 楕円弧の場合 >

1 点目を左クリックします。これが中心点となります。

2 点目を左クリックします。1 点目との X Y 距離がそれぞれ X Y 半径になります。

右クリックしてメニューを表示して「楕円作画」を選択

始点付近をクリックして始角を決定（半時計回りです）。

終点付近をクリックして終角を決定（半時計回りです）。

直前に楕円弧を作画していれば をダブルクリック（またはCtrl+クリック）で は不要

・文字列要素の作画

文字列要素はFIT型と範囲指定型の2種類に分類できます。

・FIT型は自動的にサイズ調整を行うもので、全体のサイズを変化させた場合に、文字高さと文字幅が自動的に変わります。また文字数を変化させた場合、全体のサイズが自動的に変わります。

・範囲指定型は要素全体の範囲を決めておいて、その範囲内にある左揃えや中央揃えなどの配置規則に従って文字を配置するものです。

この2つのタイプは要素のプロパティを変更することにより後から自由に変更することができます。

< FITサイズ文字列 (自動サイズ調整型文字列) の場合 >

1点目を左クリックします。

2点目を左クリックします。1点目とのXY距離で文字高さ, 文字幅が決定します。

右クリックしてメニューを表示して「FITサイズ文字」を選択
文字列を編集する。

直前にFITサイズ文字列を作画していれば をダブルクリック (またはCtrl+クリック) で は不要

の代わりにF5キーでもOK

< FITサイズ文字列で直前に描いたものとサイズ, 角度が同じでよい場合 >

1点目を左クリックします。これが文字列の左上座標になります。

「F5」キーを押します。

文字列を編集する。

< FITサイズ文字列で回転角度を変えたい場合 >

1点目を左クリックします。

2点目を左クリックします。1点目からの角度で回転角が決定します。

右クリックしてメニューを表示して「FIT角度文字」を選択
文字列を編集する。

直前にFIT角度文字列を作画していれば をダブルクリック (またはCtrl+クリック) で は不要

< 範囲指定型文字列の場合 >

1点目を左クリックします。

2点目を左クリックします。2点を対角線とする長方形が範囲となります。

右クリックしてメニューを表示して「左上揃文字」, 「中央揃文字」, 「矢印寸法文字」, 「引出寸法文字」または「引出文字列」を選択
文字列を編集する。

直前に範囲指定型文字列を作画していれば をダブルクリック (またはCtrl+クリック) で は不要

< クリップボードのテキストデータよりFITサイズ文字列を作成する場合 >

テキストデータ編集アプリケーションよりテキストをクリップボードにコピーします。

要素を編集していない状態で、メインメニューの編集メニュー「貼り付け」を実行します。

貼り付けたい位置にマウスを移動し、左クリックします。

の操作はCtrl + Vキー, Shift + Insertキー等でも可能です

・イメージ要素の作画

イメージ要素は通常型とOLE型の2種類に分類できます。

- ・通常型はビットマップデータを保持しており、カラーとモノクロ2値があります。
- ・OLE型はWindowsのOLEに対応したデータを保持しており、

エクセルのグラフやクリップアートなどのOLE対応アプリケーションのデータを貼り付け、編集する事ができます。

この2つのタイプは作成時に決定し、後で変更する事はできません。

特に必要ない限りOLE型は使用しない方がよいです。データ容量が大きくなり、作画にも時間がかかる為です。

通常イメージとして貼り付け、アプリケーション固有のデータファイルを添付ファイルとしてPDFに埋め込めば、後で変更する事もできます。

<通常型イメージの場合：クリップボードより>

イメージ編集アプリケーションよりビットマップデータをクリップボードにコピーします。

メインメニューの挿入メニュー「イメージペースト」を実行します。

貼り付けたい位置にマウスを移動し、左クリックします。

イメージデータが写真などのJPEG圧縮に向けたデータである場合、プロパティのJPEG圧縮フラグをONにします。

の操作は編集メニューの「貼り付け」やCtrl + Vキー、Shift + Insertキー等でも可能です

<通常型イメージの場合：ドラッグ&ドロップより>

エクスプローラより、BMPファイルまたはJPEGファイルをドラッグドロップします。

貼り付けたい位置にマウスを移動し、左クリックします。

<OLE型イメージの場合：新規作成>

右クリックでメインメニューを表示させ、「挿入」メニューの「OLE挿入」コマンドを実行します。

「Insert Object」ダイアログにて作成したいオブジェクトの種類を選択しOKを押します。

アプリケーションが起動するので、編集を行い終了します。

下記のウインドウが表示されていますので「更新」を選択します。

貼り付けたい位置にマウスを移動し、左クリックします。

イメージデータが写真などのJPEG圧縮に向けたデータである場合、プロパティのJPEG圧縮フラグをONにします。

<OLE型イメージの場合：クリップボードより>

イメージ編集アプリケーションよりビットマップデータをクリップボードにコピーします。

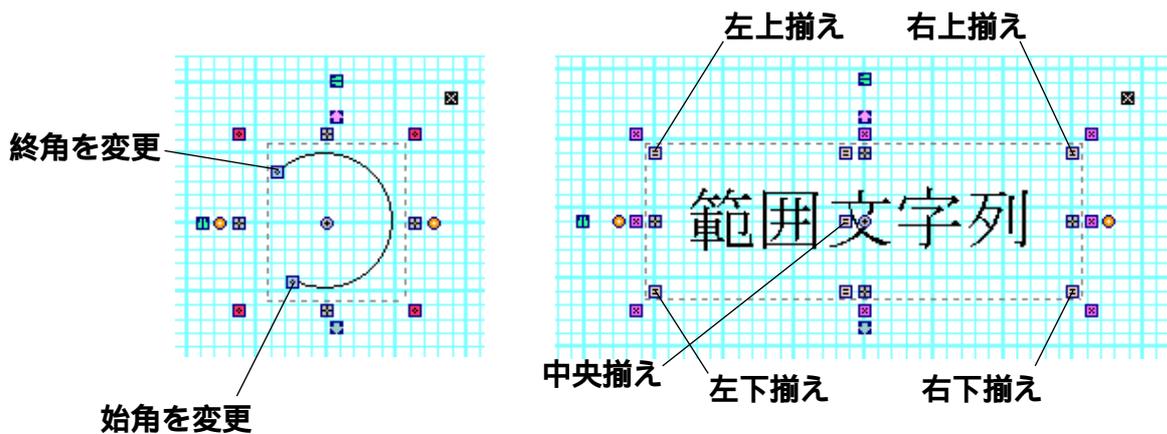
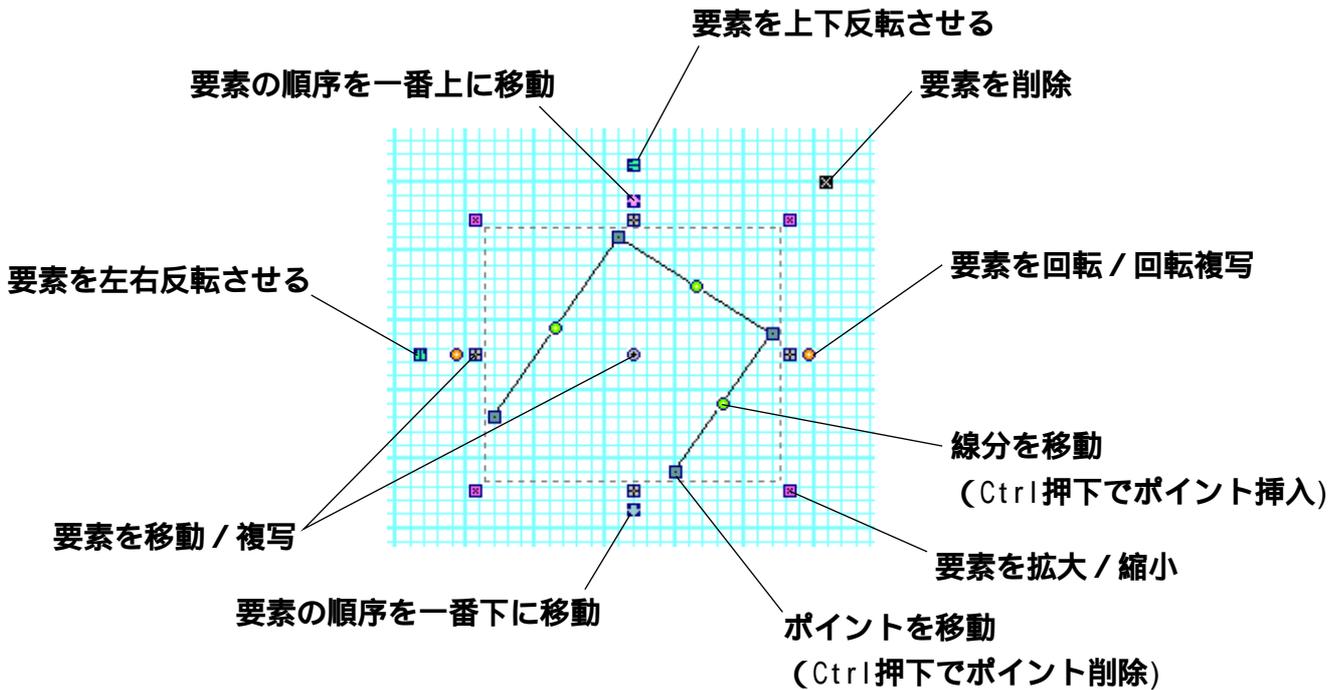
メインメニューの挿入メニュー「OLEペースト」を実行します。

貼り付けたい位置にマウスを移動し、左クリックします。

イメージデータが写真などのJPEG圧縮に向けたデータである場合、プロパティのJPEG圧縮フラグをONにします。

要素の編集操作

要素を編集状態にするには、マウスを要素上で左ダブルクリックするか Ctrl を押しながら左クリックします。もし要素が重なっていて、目的の要素が編集状態にならなかったときは「次要素検索」(F11キー)を何回か実行して、目的要素が編集になるようにします。



上記ポイントのクリック以外でも、メインメニューの編集メニュー内にて編集操作を行えるコマンドがいくつか存在します。これらについては各コマンドの説明を参照してください。

編集状態を解除するには、メインメニューの編集メニュー「選択解除」を実行するまたは ESC キーを押すか、上記のポイント以外の場所をクリックし、次のポイントを入力するか、メニューのコマンドをどれか実行することで解除できます。

要素編集時に Ctrl + 矢印キーを押すと、要素位置の微調整ができます。

1 回の叩押ししたときの移動量は、方眼紙の 1 / 4 です (1 ピクセル以下は 1 になる)。

・直線要素のプロパティ

直線要素を選択中にマウス右クリックすると以下のプロパティウインドウが表示されます。

The image shows a 'LINE PROPERTY' dialog box with various settings and options. The dialog box is titled 'LINE PROPERTY' and has a close button in the top right corner. It contains several sections:

- Buttons:** 'OK UPDATE' (with a refresh icon), 'MAIN MENU' (with a menu icon), 'SAVE PROPERTY' (with a save icon), and 'LOAD PROPERTY' (with a load icon). Below these are their Japanese equivalents: 'F10 (更新) Enter', 'メインメニュー', 'プロパティ記録', and 'プロパティ再生'.
- Line Style Selection:** A grid of various line styles including solid, dashed, dotted, and thick lines. A red box highlights the first solid line style.
- Start/End Point Modes:** A row of icons representing different arrow and point styles. A red box highlights the first icon (a solid line with arrows at both ends).
- Options:** 'CLOSE' (with a square icon), 'SMOOTH' (with a curve icon), and 'PAINT' (with a paint bucket icon). Below these are their Japanese equivalents: 'クローズ', 'スムース', and 'ペイント'.
- Color Selection:** 'LINE COLOR' (with a color swatch) and 'PAINT COLOR' (with a color swatch). Below these are their Japanese equivalents: '線色設定' and 'ペイント色設定'.
- Layer Selection:** A dropdown menu labeled 'LAYER' (with a layer icon) and its Japanese equivalent 'レイヤ指定'.

Annotations with arrows pointing to specific parts of the dialog box:

- プロパティを更新しウインドウを閉じる (Update properties and close window) - points to the 'OK UPDATE' button.
- ウインドウを閉じ、メインメニューを表示 (Close window and show main menu) - points to the 'MAIN MENU' button.
- 一時記憶した設定を読み込みます (Load saved settings) - points to the 'LOAD PROPERTY' button.
- 一時記憶した設定を一時記憶します (Save current settings) - points to the 'SAVE PROPERTY' button.
- 線種を選択します (Select line style) - points to the line style grid.
- 始点終点の矢印 / ポイントモードを選択します。 (Select arrow / point mode) - points to the start/end point icons.
- 線色を選択します (Select line color) - points to the 'LINE COLOR' selection.
- チェックすると始点終点を結び多角形にします (Check to connect start/end points to form a polygon) - points to the 'CLOSE' option.
- チェックすると折線が滑らかな曲線になります (Check to make a smooth curve) - points to the 'SMOOTH' option.
- チェックすると内部を塗り潰します (Check to fill interior) - points to the 'PAINT' option.
- 要素の所属するレイヤを指定します。 (Specify layer for element) - points to the 'LAYER' dropdown.
- ペイント色を選択しますこれは特殊な線種の内部を塗り潰すのにも使用されます (Select paint color, used for filling special line styles) - points to the 'PAINT COLOR' selection.

・円要素のプロパティ

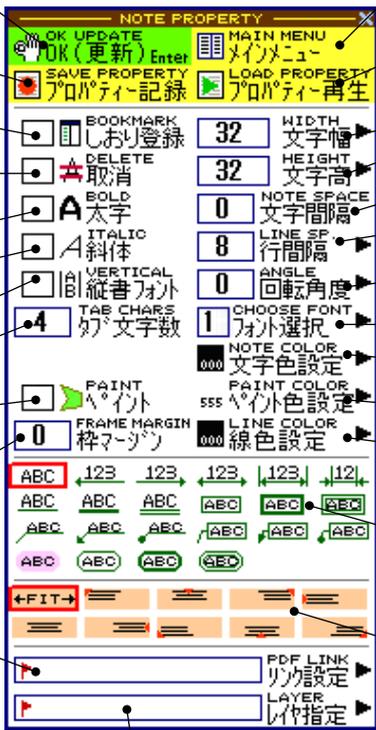
円要素を選択中にマウス右クリックすると以下のプロパティウインドウが表示されます。

The image shows a screenshot of the 'ARC PROPERTY' dialog box with several Japanese annotations pointing to specific controls:

- プロパティを更新しウインドウを閉じる** (Update properties and close window): Points to the 'OK UPDATE' button.
- ウインドウを閉じ、メインメニューを表示** (Close window and show main menu): Points to the 'MAIN MENU' button.
- 現在の設定を一時記憶します** (Save current settings temporarily): Points to the 'SAVE PROPERTY' button.
- 一時記憶した設定を読み込みます** (Load temporarily saved settings): Points to the 'LOAD PROPERTY' button.
- 線種を選択します** (Select line type): Points to the line style selection area.
- チェックすると始点終点を結び多角形にします** (Check to connect start and end points to form a polygon): Points to the 'NONE' option in the line type selection.
- 線色を選択します** (Select line color): Points to the 'LINE COLOR' section.
- 回転角度を指定します** (Specify rotation angle): Points to the 'ANGLE' input field.
- チェックすると内部を塗り潰します** (Check to fill interior): Points to the 'PAINT' checkbox.
- ペイント色を選択します** (Select paint color): Points to the 'PAINT COLOR' section.
- これは特殊な線種の内部を塗り潰すのにも使用されます** (This is also used for filling the interior of special line types): Points to the 'PAINT' checkbox.
- 要素の所属するレイヤを指定します。** (Specify the layer the element belongs to): Points to the 'LAYER' dropdown menu.

・文字列要素のプロパティ

円要素を選択中にマウス右クリックすると以下のプロパティウインドウが表示されます。



プロパティを更新しウインドウを閉じる

現在の設定を一時記憶します

チェックするとしおりに登録します

取消線を作画します

フォントを太字にします

フォントを斜体にします

フォントを縦書きにします

タブ文字数を指定します

チェックすると内部を塗り潰します

文字の外側から枠までのマージンを指定します。

PDFリーダでのリンク動作させる為の設定です。現状はコマンドをここに入力する必要があります。各コマンドのフォーマットはマウスをこの上に移動した時に出てくるメニューを実行すればある程度設定できます。

要素の所属するレイヤを指定します。

ウインドウを閉じ、メインメニューを表示

一時記憶した設定を読み込みます

文字サイズを指定します

文字間隔を指定します

行間隔を指定します

回転角度を指定します

フォントを選択します

文字色を選択します

ペイント色を選択します

下線や枠線の線色を選択します。

修飾モードを選択します

配置モードを指定します。FITが選択されるとFIT型文字列となり、それ以外が選択されると範囲選択型文字列となります。

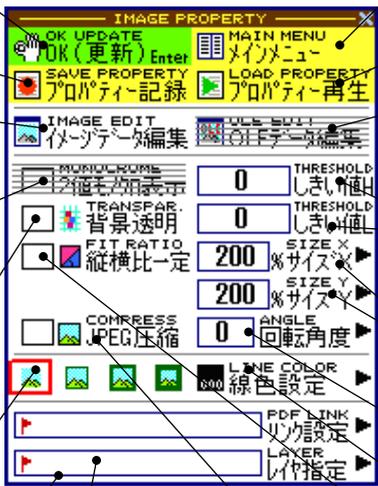
<FIT型文字列>
要素のサイズと文字サイズを同期するもので、要素のサイズを変更すると自動的に文字サイズが変更されます。また、文字を編集して文字数や行数が変わると、要素サイズを自動的に変更します。このタイプは図中の文字列全般に使用されます。

<範囲選択型文字列>
要素のサイズと文字のサイズは独立しており、配置を指定できます。但し、入りきらない文字列は表示されません。長文やセンタリングの必要な文字列で使用します。

OK UPDATE
OK (更新) Enter
SAVE PROPERTY プロパティ記録
LOAD PROPERTY プロパティ再生
MAIN MENU メインメニュー
BOOKMARK しおり登録
DELETE 取消
BOLD 太字
ITALIC 斜体
VERTICAL 縦書きフォント
TAB CHARS タブ文字数
PAINT 塗り潰
FRAME MARGIN 枠マージン
WIDTH 文字幅
HEIGHT 文字高
NOTE SPACE 文字間隔
LINE SP 行間隔
ANGLE 回転角度
CHOOSE FONT フォント選択
NOTE COLOR 文字色設定
PAINT COLOR フォント色設定
LINE COLOR 線色設定
PDF LINK リンク設定
LAYER レイヤ指定

・イメージ要素のプロパティ

イメージ要素を選択中にマウス右クリックすると以下のプロパティウインドウが表示されます。



プロパティを更新しウインドウを閉じる

現在の設定を一時記憶します

通常型イメージ要素の場合、この釦を押すことでデータの編集を開始します。

OLE型イメージ要素の場合、表示を2値モノクロにします通常型の場合は、要素作成時に決定しており、変更できません

しきい値で指定されたカラー値範囲のピクセルを背景とみなし、透明にします

枠線の有無と太さを指定します。

PDFリーダでのリンク動作させる為の設定です。現状はコマンドをここに入力する必要があります。各コマンドのフォーマットはマウスをこの上に移動した時に出てくるメニューを実行すればある程度設定できます。

要素の所属するレイヤを指定します。

プロパティを更新しウインドウを閉じる

ウインドウを閉じ、メインメニューを表示

一時記憶した設定を読み込みます

OLE型イメージ要素の場合、この釦を押すことでデータの編集を開始します。

2値モノクロおよび背景透明の場合のしきい値を16進6桁のカラー値設定します

表示倍率を%単位で設定します

回転角度を指定します

枠線の線色を指定します。

マウス操作によりサイズを変更しようとした時に、縦横比を変えないようにします

ファイル保存時の圧縮方法をJPEGにします。標準の圧縮方法はFLATEです。

ファイル内リンク： GOTO, [ページ0~], [X座標mm], [Y座標mm]
他PDFリンク： GOTOR, [パス], [ページ0~], [X座標mm], [Y座標mm]
ファイル実行： LAUNCH, [パス]
インターネットブラウザ： URI, [インターネットアドレス]
次ページへ： NEXTPAGE
前ページへ： PREVPAGE
先頭ページへ： FIRSTPAGE
最終ページへ： LASTPAGE

本ソフトではイメージデータの編集機能はありません。他のアプリケーションソフトウェアを使用してもらう事になります。

<通常型イメージ要素の場合>

「イメージデータ編集」を実行すると、クリップボードにイメージデータがコピーされます。それをイメージ編集アプリケーションにペーストし、イメージを編集します。編集が終わったら、再びクリップボードにコピーします。そして本ソフトに戻り、「更新」を選択すると、イメージデータが変更されます。「中止」を選択すると、変更がキャンセルになります。

<OLE型イメージ要素の場合>

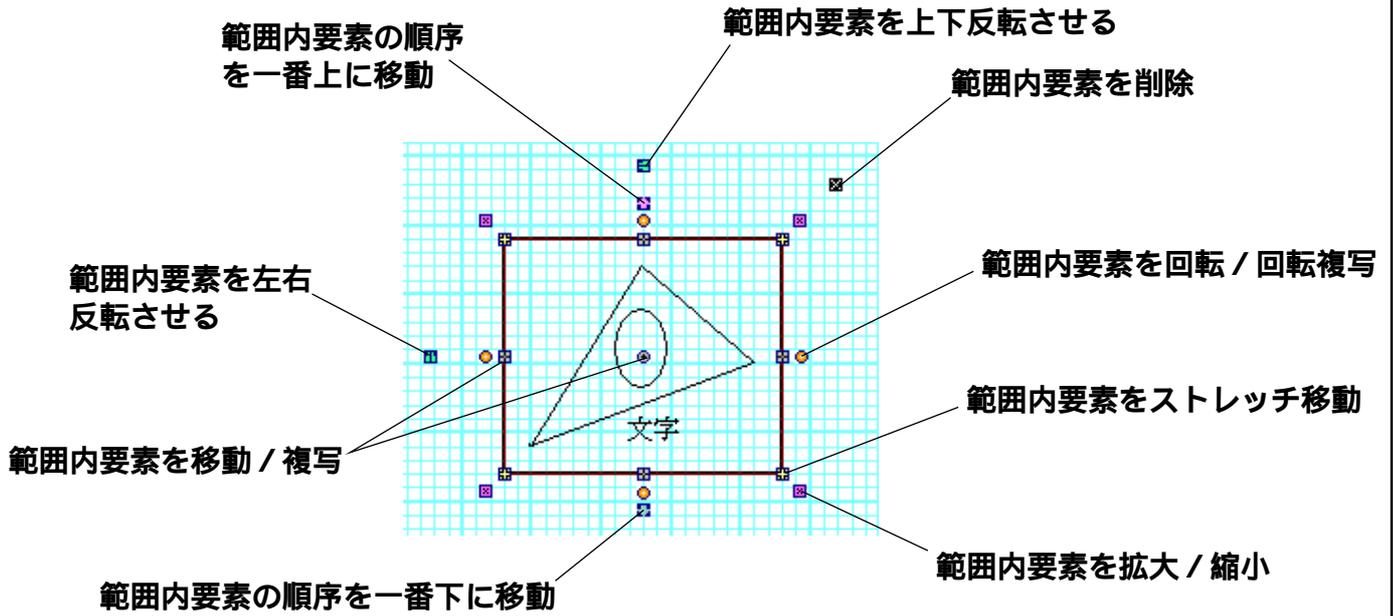
「OLEデータ編集」を実行すると、OLEアプリケーションが自動的に起動し、編集状態になります。編集後、そのアプリケーションを閉じ、本ソフトに戻り、「更新」を選択すると、イメージデータが変更されます。「中止」を選択すると、変更がキャンセルになります。

範囲選択の編集操作

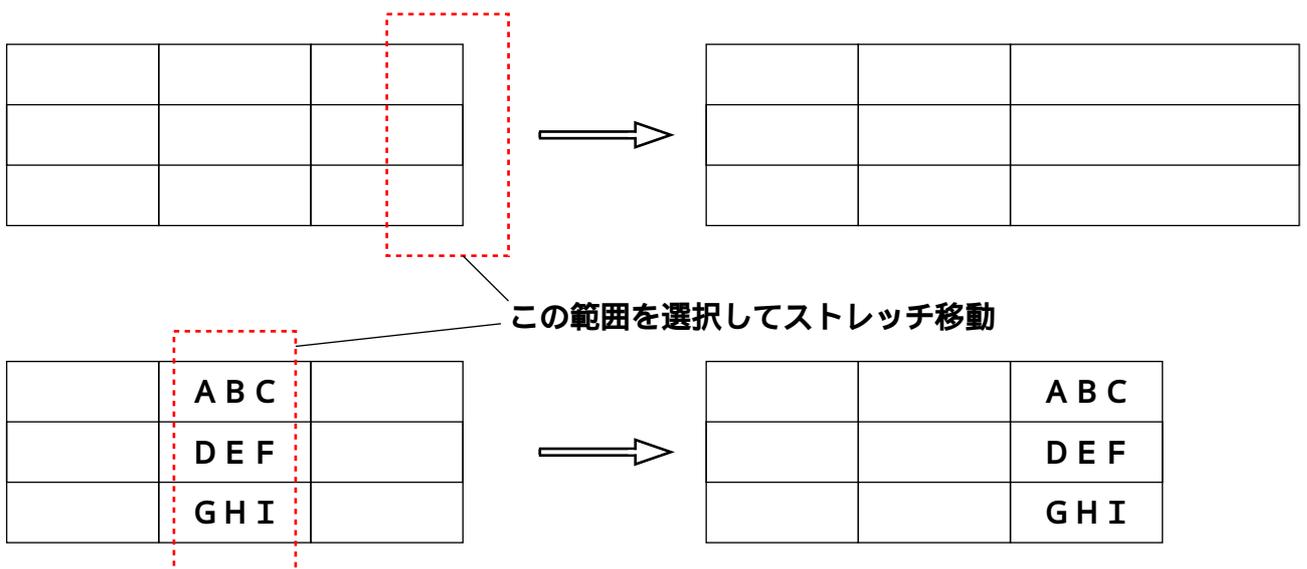
範囲選択による各種編集を行うには、範囲の対角の2点をポイント入力して「範囲選択」を実行するかF2キーを押します。

範囲指定はXY座標に平行な長方形範囲となり、折れ線範囲や任意要素の追加削除指定などは行えません。

本ソフトでは、長方形の範囲指定にて簡単に編集が行える様に、配慮しながら作図することが重要です。例えば一括して編集すると予想される要素の範囲に他の要素をあまり重ねないようにする事です。(いくら綺麗にドキュメントを作成しても、編集に手間がかかったのでは陳腐化してしまいます。)



ストレッチ移動とは直線要素において範囲選択の内側のポイントのみを移動するものです。これを使用すると、表を延長したり、表内の文字列のみを移動するなどの操作が行えます。

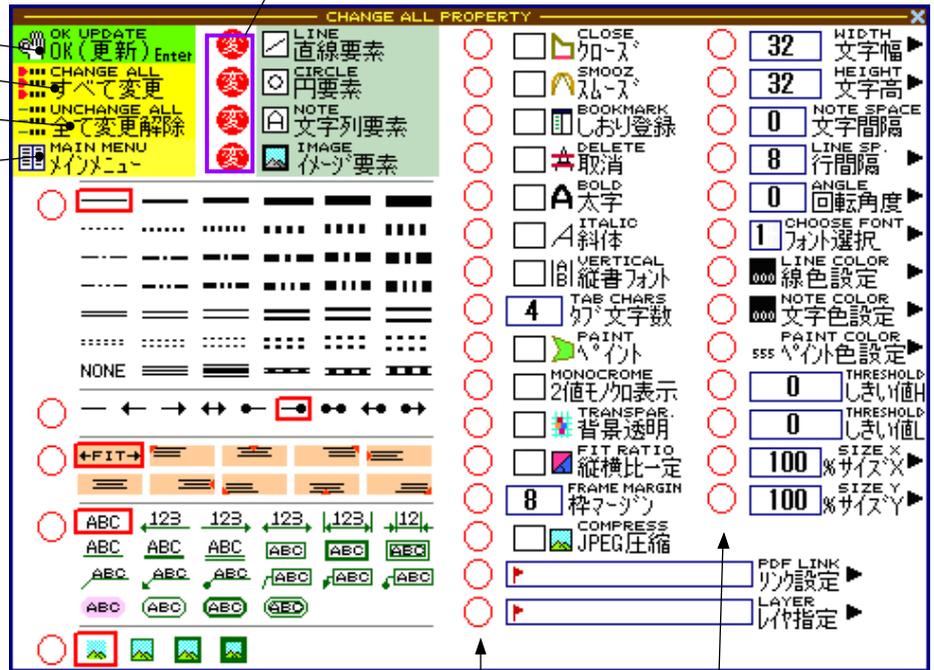


・プロパティ一括変換

範囲選択中にマウス右クリックまたはページ選択中に「プロパティ変換」コマンドを実行すると、プロパティ一括変換ウインドウが表示されます。

変換を行う要素の種別を指定します

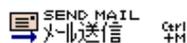
変換を実行します
 全ての変更をON
 全ての変更をOFF
 メインメニューを表示します



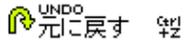
変換を行うプロパティの種別を指定します

コマンドリファレンス

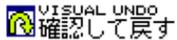
・ファイルメニューのコマンド



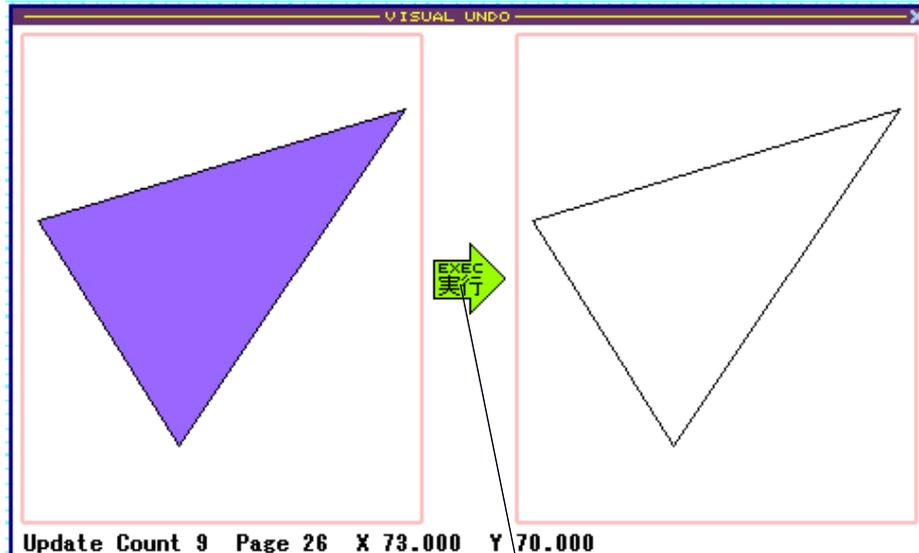
・編集メニューのコマンド



最後の編集動作を元に戻します。



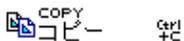
最後の編集動作をプレビューを確認しながら元に戻します。
外観が変化しない変更に対しては要素の確認になります。



この釦押すと元に戻ります



文字列要素中の文字列が選択されている時、文字列を切り取ります。
要素が選択されている時、要素を切り取ります。
2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の要素を切り取ります。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を切り取ります。
ページが選択されている時、ページごと切り取ります。



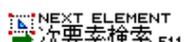
文字列要素中の文字列が選択されている時、文字列をコピーします。
要素が選択されている時、要素をコピーします。
2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の要素をコピーします。
範囲が選択されている時、範囲内の要素をコピーします。
ページが選択されている時、ページごとコピーします。



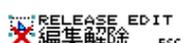
クリップボードに要素データがある場合、その要素を貼り付けます。
クリップボードに範囲選択データがある場合、その範囲内要素を貼り付けます。
クリップボードにページデータがある場合、ページを貼り付けます。
クリップボードにテキストデータがある場合、文字列要素を貼り付けます。
クリップボードにイメージデータがある場合、イメージ要素を貼り付けます。



文字列要素中の文字列が選択されている時、文字列を削除します。
要素が選択されている時、要素を削除します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を削除します。
ページが選択されている時、ページごと削除します。



マウス左クリックした範囲で選択されている要素の次要素を選択します。



要素の選択を解除します。



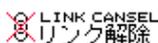
各タブの列挙されているデータをすべて選択します。



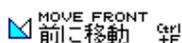
各タブの列挙されているデータをすべて選択解除します。



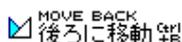
しおりタブの選択されているデータのしおり登録を解除します。



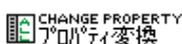
リンクタブの選択されているデータのリンクを解除します。



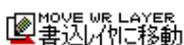
要素が選択されている時、要素を前面に移動します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を前面に移動します。



要素が選択されている時、要素を後面に移動します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を後面に移動します。



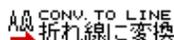
範囲選択またはページ選択にて、プロパティを一括変換します。
詳細は範囲選択のプロパティ一括変換の項を参照願います。



要素が選択されている時、要素を書込中レイヤに移動します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を書込中レイヤに移動します。
ページが選択されている時、ページ中の要素を書込中レイヤに移動します。

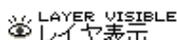


要素が選択されている時、要素をFORMに移動します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素をFORMに移動します。
(いずれもページ上の座標は変化しません。)

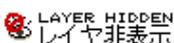


要素が選択されている時、要素を折れ線に変換します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を折れ線に変換します。
ページが選択されている時、ページ中の要素を折れ線に変換します。
現在のバージョンでは、円要素または文字列要素のみ変換可能です。

文字 → 文字



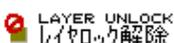
レイヤタブの選択されているデータのレイヤを表示状態にします。



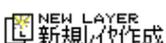
レイヤタブの選択されているデータのレイヤを非表示状態にします。



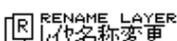
レイヤタブの選択されているデータのレイヤをロックし編集不可にします。



レイヤタブの選択されているデータのレイヤをロック解除し編集可にします。



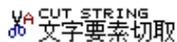
レイヤタブに新規データを追加します。



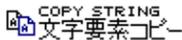
レイヤ文字列を変更します。使用されている要素も変更されます。



使用されていないレイヤをリストから削除します。



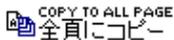
2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の文字列要素を切り取ります。
範囲が選択されている時、範囲内の文字列要素を切り取ります。



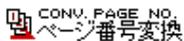
2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の文字列要素をコピーします。
範囲が選択されている時、範囲内の文字列要素をコピーします。



2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の要素を全ページにおいて削除します。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を全ページにおいて削除します。



2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の要素を全ページにコピーします。
範囲が選択されている時、範囲内の要素を全ページにコピーします。



2点入力されている時、2点を対角線とする範囲内の全ページの文字列要素のうち、条件を満たすものについて、そのページのページ番号に置換します。
範囲が選択されている時、範囲内の全ページの文字列要素のうち、条件を満たすものについて、そのページのページ番号に置換します。

<ページ番号置換を行う為の条件>

- ・文字列は半角換算で30文字以内であること
- ・全角/半角は問わないが、数字とスペースのみの文字列であること
- ・ページ番号の桁数を満たすだけの文字列サイズがあること

・ 検索メニューのコマンド

検索メニューのコマンドは検索タブの説明を参照願います。

・ フレームメニューのコマンド

フレームメニューのコマンドは各タブ , 文字列編集フレームの説明を参照願います。

・ 表示メニューのコマンド

表示メニューのコマンドは表示に関する説明を参照願います。

・ 挿入メニューのコマンド

挿入メニューのコマンドはイメージ要素の作画を参照願います。

・ ツールメニューのコマンド

現状ツールメニューのコマンドはありません。

・ オプションメニューのコマンド



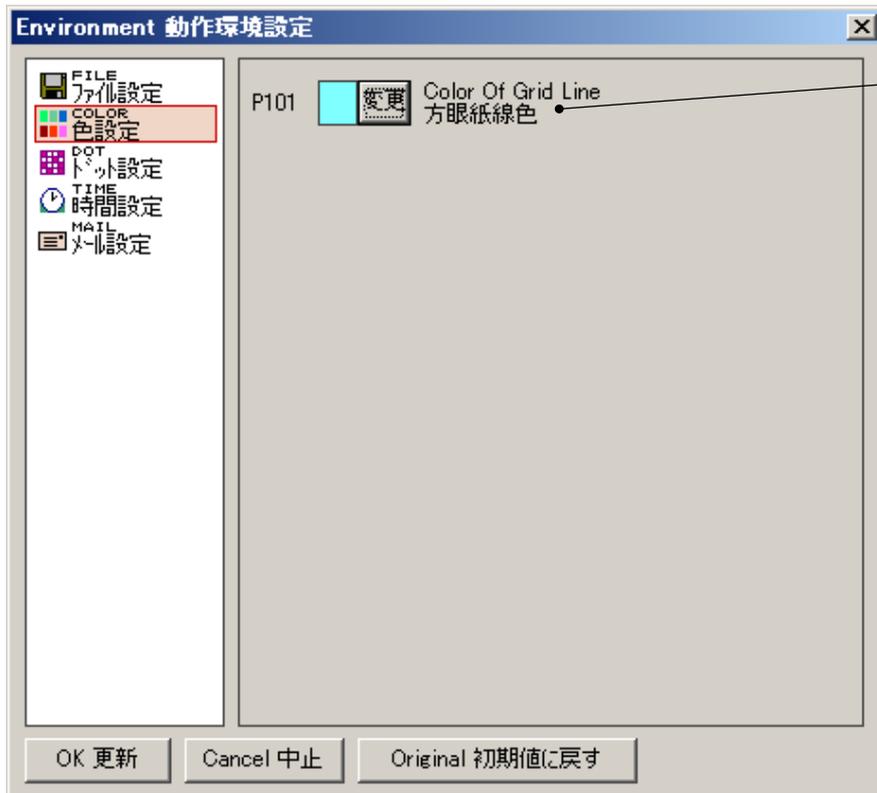
本ソフトの各種動作設定を行います。



共有ドライブにてファイルの排他処理を行う方法を指定します。通常は読み込みのみ許可します。

ファイル保存時に作成するバックアップファイルの最大個数を指定します。0の時はバックアップファイルは作成されません。設定数値にマイナスの値を設定した時は、バックアップファイルが隠し属性で作成されますので、エクスプローラの表示設定を変えないと表示されません。

本ソフトを初めてインストールした時の設定に戻します。



方眼紙の色を設定します。



マウスで要素を選択しづらい場合に増やします。

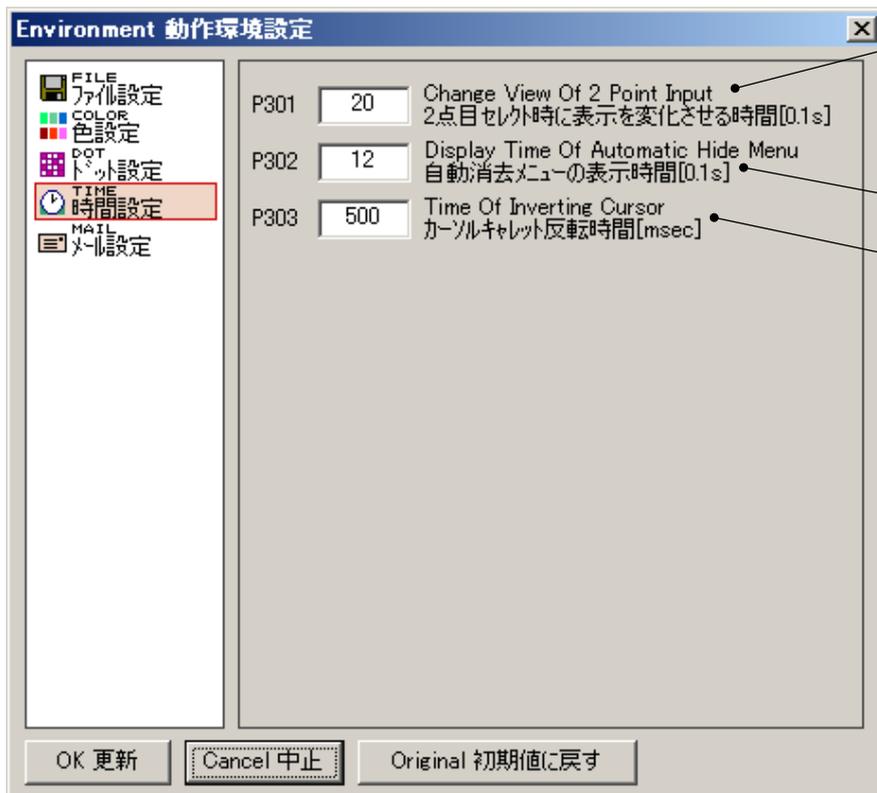
クリックとドラッグを判別する為の数値です。

編集ポイント間の基準距離を設定します。

現状、使用されていません。

方眼紙や表示倍率を変更する右ドラッグの単位を設定します。

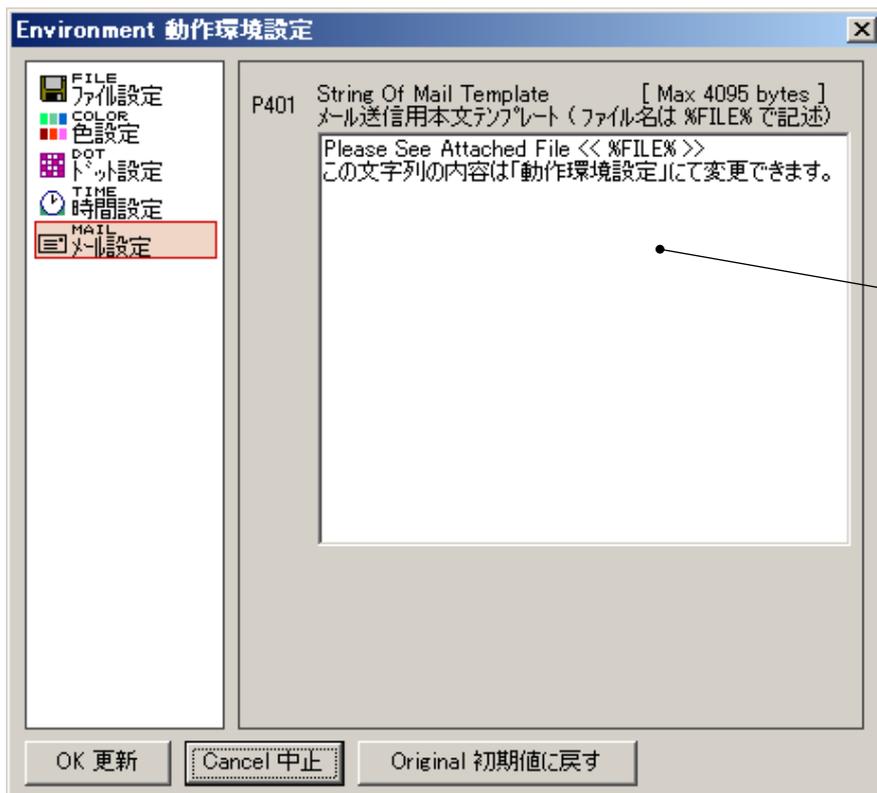
折れ線に変換コマンドでの、変換精度を指定します。



2点目をセレクトした場合にドラッグラインが直線から長方形と楕円、円に変化する時間を設定します。

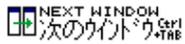
現状、使用されていません。

カーソルの点滅速度を設定します。

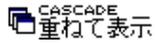


Eメール送信を行う際の本文テンプレート文字列を指定します。添付されるPDFファイル名は %FILE% で記述しておく自動的に置換されます。

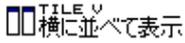
・ウインドウメニューのコマンド



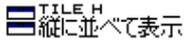
本アプリケーションの次のウインドウをアクティブ化します。SDIウインドウを採用している本ソフトでは頻繁に使用します。



本アプリケーションの全てのウインドウを重ねて表示します。

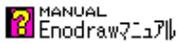


本アプリケーションの全てのウインドウを横に並べて表示します。
3個以上のウインドウでは実用的ではありません。

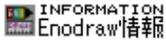


本アプリケーションの全てのウインドウを縦に並べて表示します。
3個以上のウインドウでは実用的ではありません。

・ヘルプメニューのコマンド



アプリケーション付属のマニュアルを表示します。
アクロバットリーダーがインストールされている必要があります。



アプリケーションのバージョンなどの情報を表示します。

使用許諾条件

Enodraw（以下本ソフトウェア）は下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

- 1) 本ソフトウェアの営利目的の譲渡、販売行為を禁じます。
- 2) 本ソフトウェアに対する解析、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、修正等を禁止します。但し、国際化対応等については歓迎しますので、作者まで相談願います。
- 3) 本ソフトウェアをインストールしたらセットアップ用のファイルは消去して下さい。コピー、再配布等は原則として禁止します。もし、何らかの理由でコピー、再配布する場合、「管理外」である故をファイル名に挿入し、最新バージョンでない事を明確にして下さい。
- 4) 不具合、バグ等については、可能な限りの対処をおこないますので、できるだけ詳細な報告をお願いします。なお中傷や非建設的な意見、ウィンドウズに関する質問等は遠慮願います。
- 5) プログラム及びドキュメント等の著作権は、作者「eno538」が有しております。本ソフトウェアは日本国の著作権法、並びに国際条約に保護されています。プログラムの動作画面および付属文書、作者Webページ上の文書等を含んだドキュメントを有償で配布する場合は、一部であっても事前ご相談ください。
- 6) 本ソフトウェアは、フリーソフトです。本ソフトの導入によって生じたいかなる損害等につきましても、著作権者は責任を負うものではありません。あくまでも自己責任で使用下さい。

謝辞

本ソフトウェアはFLATE圧縮解凍にZLIBライブラリ、JPEG圧縮解凍にIJGライブラリを使用しております。これらのライブラリを製作された方に深く敬意を表します。

Zlib library (C) 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

The Independent JPEG Group's JPEG software (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.